

校友さんしや

1999年11月15日 No.28

ホームページ●<http://www.ritsumei.ac.jp/kic/so/index-j.html>

題字●元総長・細野武男氏



産業社会学部初の全盲の学生が入学

安田知博さん

産業社会学部はじめての全盲の学生安田知博さん。熊本県立盲学校出身。自らが障害者——、福祉を受ける立場から研究するのもいいのではないかと思い「発達福祉コース」を選びました。入学してみても産社のよさ、魅力を感じているといいます。



篠田武司 産業社会学部 新学部長に聞く

21世紀は産社がシンボル

以学館で人間福祉学科を新展開



篠田武司学部長

人間福祉学科と産業社会学科

これまで二学系六コースという体系でしたが、今後の改革はどういう展望でしょうか。篠田 一つは人間分野教学課題です。二〇〇一年に新しく「人間福祉学科」を作ることをめざして、文部省への申請準備をしています。これは今までの「発達・福祉コース」を抜本的に拡充発展するものです。

立命館の産社で福祉を展開するわけですから、広い視野で福祉を見て現場に出ている人材、そして福祉のさまざまな問題をコーディネートできる人材を育てたいと思っています。もちろんスキルがなければ抱えませんが、両方を兼ね備えた人材ですね。

また既存の学科は、残る五つのコースを三学系にする予定でいます。現代社会学系、メディア学系、人間文化学系です。

現代社会学系では、社会や経済や政治を中心に広い視野、世界的視野を持って今の社会問題に取り組める人材を育てたいですね。

メディア学系は、情報社会とかメディア社会とか言われ、社会にとってメディアの役割は大きいと思いますから、これを一つの柱にして、今回は既存学科の中で打ち出したいということです。現在でも新聞社の記者とかテレビアナウンサーなどへ少しずつ進出していますが、もっと増やしたいですね。

人間文化学系では、いわゆる余暇の問題ですとか異文化理論など、そういう問題を扱います。

今後、産社は新しく生まれ変わります。「人間福祉学科」と「産業社会学科」の二学科でやっていくということになります。

そしてもう一つ、夜間主コースの「総合社会コース」があります。生涯学習に対応できるようにと、今年から始めました。

■社会人が元気な夜間主コース 夜間主コースに入学された方はどんな反応ですか。篠田 社会人は三三、勤労学生が十数名、あとが一般入試で入った。

■アクティブラーニング 独自の資格プログラムにはどんなものがありますか。篠田 学部は全体として参加型の授業をめざそうとしています。これをアクティブラーニングといっています。自分の足で現場に入って何か感じてきてそれをまとめていく力を育てる。社会調査プログラムもそういう意味で作ったものです。

またこれは国家資格ではなく大学独自のものです。関西の大学の社会学部を中心に連携も進めようとしています。

■産社が以学館へ 二〇〇〇年度から以学館への移転が決まりましたが。篠田 学生が私の自宅に「なぜ恒心館から追い出されなくちゃいけないんだ」と電話をしてくるんですよ。以学館は上から見ると「立」という字ですから一種のシンボリック建物です。ですから「そうじゃないんだ。産社は立命のシンボル学部になるんだ」と答えましたら納得してくれました(笑)。

■産社は居心地がいい 篠田先生は、産社にはいつか

らですか。篠田 一九八三年からです。それ以前は岐阜大学でした。

■産社はいかがですか。篠田 私の特長は経済学なんです。今の経済的現象の一つとしてみても経済学だけでは捉えきれないですね。もともと経済思想とか社会学の理論をトックキングさせなくちゃいけないと思ってるんですけど、そこから、そういう点では非常にやりやすく居心地がいいですよ。

■校友が大学の支え 最後に校友のみなさんにひとことメッセージを。篠田 校友は二万人を超えました。だいたいは昔就職の時に「産社とは何ですか」と質問されて学生が答えに困った(笑)。三〇年たつて二万人が巣立ち、最近も相変わらず聞かれるそうですが、学生がそれなりに答える理解されるようになってきました。社会的に

また既存の学科は、残る五つのコースを三学系にする予定でいます。現代社会学系、メディア学系、人間文化学系です。

現代社会学系では、社会や経済や政治を中心に広い視野、世界的視野を持って今の社会問題に取り組める人材を育てたいですね。

メディア学系は、情報社会とかメディア社会とか言われ、社会にとってメディアの役割は大きいと思いますから、これを一つの柱にして、今回は既存学科の中で打ち出したいということです。現在でも新聞社の記者とかテレビアナウンサーなどへ少しずつ進出していますが、もっと増やしたいですね。

人間文化学系では、いわゆる余暇の問題ですとか異文化理論など、そういう問題を扱います。

今後、産社は新しく生まれ変わります。「人間福祉学科」と「産業社会学科」の二学科でやっていくということになります。



●ボランティアコーディネータープログラム開設 産社と京都市社会福祉協議会との提携による「ボランティアコーディネーター養成プログラム」が今年から始まりました。三回生三十一人と社協推せんの社会人二十三人が共に受講しています。

●社会福祉士国試合格過去最高 九八年度の第十一回社会福祉士国家試験で合格者が過去最高になりました。受験者六十五名(既卒者十六名)、合格者四十一名(同十四名)、合格率六三・一%(全体の合格率は二九・五%)でした。

●産社出身で初の司法試験合格 八七年三月卒業の山下三佐子さん(遠藤晃ゼミ、兵庫県立西脇高出身)が司法試験に合格しました。

●MSFフォトジャーナリスト賞に今年卒業の渋谷さん 九九年三月に卒業した渋谷敦志さんがMSFフォトジャーナリスト賞を受賞しました。この賞は世界各地で緊急医療援助活動をしている国境なき医師団日本が、フォトジャーナリストを志す二十歳代の写真家を発掘するために設けたコンクールで、渋谷さんの大阪市西城区のあいりん地区の労働者の姿をとらえた二十点のモノクロ写真が受賞の対象となりました。

■リエゾン活動を広げる 学外提携も進んでいますね。篠田 これからの大学は、社会に開かれたネットワークが必要で、学が場所は単なる大学だけではなく、外にも学びの場を広げていく。「リエゾン(提携)活動」「インターネットシッフ活動」ということになりましたが、学生が社会に出かけて行って、現場で考える。いいかえれば足で考えるということになります。

京都市社会福祉協議会との提携で今年から始まった、ボランティアコーディネーター養成プログラム



■真田是先生の古希を祝う会を開催 ●昨年のリユニオンデーと同じ日に 一九九八年十一月二十三日(金)、立命館大学アカデミア立命21・中野記念ホールにおいて、「真田是先生の古希を祝う会」を開催しました。会には、ゼミ卒業生のほか、研究領域の近い故郷藤滋、河合幸尾両先生のゼミ卒業生、会の前に行われた「さんしゃリユニオンデー」参加者なども含め、約八十名が集い、旧交を温めました。来賓として参加された川本八郎立命館理事長からの祝辞や、ゼミ卒業生である民謡歌手の大野実佐子さんによる歌唱などもあり、大いに盛り上がりました。

真田ゼミOB会では、今後も毎年一回、真田先生を囲む会を持つことになっています。

ゼミOB会の動き

- ▼松尾博文ゼミ(立松会) 一〇月二四日
- ▼飯田哲也ゼミ 一一月三日
- ▼松田博ゼミ 一一月二七日

事務局より

諸般の事情により、今年度のさんしゃリユニオンデー企画は中止いたします。

なお、OB会開催予定などありましたら、ぜひ事務局まで一報ください。



それを大学で整理しまとめる。それがこれからの大学の学びのひとつのあり方だと思っています。

現在の中心は日本生活協同組合連合会の医療部会の寄付講座と、今年始まった京都市社会福祉協議会との間での「ボランティア・コーディネーター養成プログラム」です。マスコミ関係にも広げたいと思っています。

この点では、校友のみなさんに積極的に情報を提供していただいたり、アドバイスしていただいた

り、地域でお話をしていただくということがもっと必要になってくると思います。

■アクティブラーニング 独自の資格プログラムにはどんなものがありますか。篠田 学部は全体として参加型の授業をめざそうとしています。これをアクティブラーニングといっています。自分の足で現場に入って何か感じてきてそれをまとめていく力を育てる。社会調査プログラムもそういう意味で作ったものです。

またこれは国家資格ではなく大学独自のものです。関西の大学の社会学部を中心に連携も進めようとしています。

■産社が以学館へ 二〇〇〇年度から以学館への移転が決まりましたが。篠田 学生が私の自宅に「なぜ恒心館から追い出されなくちゃいけないんだ」と電話をしてくるんですよ。以学館は上から見ると「立」という字ですから一種のシンボリック建物です。ですから「そうじゃないんだ。産社は立命のシンボル学部になるんだ」と答えましたら納得してくれました(笑)。

■産社は居心地がいい 篠田先生は、産社にはいつか

らですか。篠田 一九八三年からです。それ以前は岐阜大学でした。

■産社はいかがですか。篠田 私の特長は経済学なんです。今の経済的現象の一つとしてみても経済学だけでは捉えきれないですね。もともと経済思想とか社会学の理論をトックキングさせなくちゃいけないと思ってるんですけど、そこから、そういう点では非常にやりやすく居心地がいいですよ。

■校友が大学の支え 最後に校友のみなさんにひとことメッセージを。篠田 校友は二万人を超えました。だいたいは昔就職の時に「産社とは何ですか」と質問されて学生が答えに困った(笑)。三〇年たつて二万人が巣立ち、最近も相変わらず聞かれるそうですが、学生がそれなりに答える理解されるようになってきました。社会的に

また既存の学科は、残る五つのコースを三学系にする予定でいます。現代社会学系、メディア学系、人間文化学系です。

現代社会学系では、社会や経済や政治を中心に広い視野、世界的視野を持って今の社会問題に取り組める人材を育てたいですね。

メディア学系は、情報社会とかメディア社会とか言われ、社会にとってメディアの役割は大きいと思いますから、これを一つの柱にして、今回は既存学科の中で打ち出したいということです。現在でも新聞社の記者とかテレビアナウンサーなどへ少しずつ進出していますが、もっと増やしたいですね。

人間文化学系では、いわゆる余暇の問題ですとか異文化理論など、そういう問題を扱います。

今後、産社は新しく生まれ変わります。「人間福祉学科」と「産業社会学科」の二学科でやっていくということになります。

新任教員紹介

産業社会学部教授

高橋正人



人間形成における
 家族の役割を重視
 した高齢者福祉を
 研究

「人間の基盤を作るうえで、最も重要なものは家族である。他者と競争したり、奪い合ったりするのが人間の本性であるが、互いを尊重し、助け合う精神は、家族を基本に置いた生活環境の中で培われていくものであり、決して自然に生まれるものではない。福祉の精神も、後天的に培われた人間性そのものである」。こうした観点から、近年、財政を中心に議論されることの多い高齢者福祉制度を見直し、高

齢者にとって安心で満足のかく豊かな生活を実現できる社会の在り方を問うことが、主な研究テーマ。

社会福祉学を教えるなかで、学生には実践能力をつけると同時に、専門的な理論も身につけたうえで社会を分析し、より良い福祉制度の再構築ができるようにと望む。「それに向けて、単なる方法的なものではなく、社会福祉学の専門性を保持しつつ、さらに考えを深められるようなテキストを執筆したい」。

一九七八年中央大学文学部卒業後、同大学大学院修士課程修了。八二年より東京都老人総合研究所助手、九一年からは和歌山大学教育学部助教授を経て本学へ。趣味は絵を描くこと、映画鑑賞、旅行と多岐にわたり、最近では東洋医学(瞑想・体操など)を生活に採り入れている。

産業社会学部助教授

石井由香



現代マレーシア
 エスニック関係
 研究

一九八七年津田塾大学社会学部卒業。九三年同大学大学院国際関係学研究科博士課程単位取得退学後、九八年筑波大学にて社会学の博士号取得。マレーシアを中心に地域研究を進める。

マレーシアにはマレー系住民が政治力を、インド系住民や華人が経済力を握るといふ構造があり、一九七〇年代以降、プミプトラ政策と呼ばれるマレー人優位の政策がとられてきた。

こうした状況にあっても深刻な民族対立を起すことなく、比較的順調な経済発展を遂げてきたマレーシアの今後を見つめていくこと、複数のエスニック集団を抱え、なおも発展を続けようとするマレーシアを一つのケーススタディとして、エスニック関係・社会を見ることがメインテーマ。研究はそこから派生して、日本の外国人労働者、国際結婚、不法滞在者問題へと広がる。

趣味は茶道。休日を利用して茶会へ参加。「来年度からは立命館アジア太平洋大学(APU)勤務となるが、それまでは京都で様々な社寺の茶会巡りをしてみたい。京都には和菓子の店も多く、楽しみです」(談)。

訃報

立命館大学名誉教授

山口正之氏のご逝去

立命館大学名誉教授の山口正之氏が三月二十日(土)午前三時三十分、肺炎のため佐賀市の病院で逝去されました。享年八十一歳。

山口氏は一九四〇年三月東京帝国大学経済学部経済学科

卒業。一九五六年十一月佐賀商事株式会社取締役社長から一九六三年十月九州大学経済学部助手を経て一九七〇年四月本学産業社会学部教授として赴任されました。また一九七二年四月〜一九七五年三月

産業社会学部部長・社会学研究科長、一九八〇年四月〜一九八三年三月人文科学研究所長などの要職を歴任され、一九八三年三月定年退職、四月に名誉教授とられました。専門は経済学・現代企業論。

その後、大阪経済法科大学教授・副学長・評議員を務められ、一九九〇年から日中友好協会会長をはじめ各種社会

運動の理論的リーダーとして活躍されました。「マルクス主義と産業社会学」など多数の著書論文があります。

告別式は三月二十一日(日)午後二時より佐賀市北川副町大字光法一七〇八の光源寺でしめやかに執り行われました。喪主はご令室の山口久見子さん。大学からは佐々木嫡代三副総長が参列しました。


着物作りにかかる職人の心意気を皆様に

21世紀に職人の技を残すために京都の中小企業運動の共同財産として設立。きもの・帯生産者直販の20年。お見立てからお仕立、クリニック全般を納得価格で申し受けております。

68年産社四期入学
 谷垣 利治

着物のことならまずご相談下さい
 ☎075-432-3548

備前陣地場産業
 〒602京都市上京区千本仁和寺東入



立命館大学社会学研究科の

社会人入学の機会を拡大しました

高度専門職業養成コース(一般、社会人、協定による社会人推薦)での博士課程前期課程への入学試験はこれまで秋季のみでしたが、この度、春季も募集いたします。博士課程前期課程の募集定員15名から60名、同後期課程5名から15名に届出中です。ふるってご応募ください。

お問合せは
立命館大学
産業社会学部
事務局
 075-465-8184